



ウンカ類発生状況報告書



(トビイロウンカ発生程度別基準)

※要防除水準

程度	無	少	中	多	甚
株あたり虫数	0	1～5	6～21	21～50	51以上

(セジロウンカ発生程度別基準)

※要防除水準

程度	無	少	中	多	甚
1株あたり虫数	0	1～10	11～50	51～100	101以上

(ヒメトビウンカ発生程度別基準)

※要防除水準

程度	無	少	中	多	甚
1株あたり虫数	0	1～2	3～5	6～10	11以上

(植物防疫協会 イネの病害虫より)

【調査結果】

調査日:令和4年8月2日

調査田	捕殺数(株あたり虫数)		
	トビイロウンカ	セジロウンカ	ヒメトビウンカ
岸和田市積川町	0頭	0頭	0.027頭 ※75株当たり2頭捕殺
和泉市黒石町	0頭	0頭	0.013頭 ※75株当たり1頭捕殺
泉大津市虫取町	0頭	0頭	0頭

※要防除水準とは・・・

農薬による病害虫防除の必要性について判断する基準で、これ以上病害虫の発生が多くなると収量や品質に悪影響を与える恐れがあります。

総括

今回の調査でもトビイロウンカ、セジロウンカは確認されませんでした。

ヒメトビウンカの関しても、防除水準を超える発生はしていませんでした。

しかし、大阪府病害虫防除グループより、今後は斑点米カメムシ類が増加傾向となる予想が出ておりますので、ウンカ類とともに注意が必要となります。

ウンカ類とカメムシ類の両方に登録のある農薬

種類	農薬名	施用時期	成分数	トビイロウンカに対する有効成分	IRACコード
殺虫剤	エクシードフロアブル	収穫7日前まで	1	スルホキサフロン	4C
	アルバリン粒剤	収穫7日前まで	1	ジノテフラン	4A
	スタークル豆つぶ	収穫7日前まで	1	ジノテフラン	4A
	キラップ粒剤	収穫14日前まで	1	エチプロール	2B
	ダントツ粒剤	収穫7日前まで	1	クロチアニジン	4A
	トレボン乳剤	収穫14日前まで	1	エトフェンプロックス	3A

※キラップ粒剤の斑点米カメムシ類に対する散布適期は出穂 10 日前～出穂期であるので遅れないように注意しましょう。